

第5回武蔵野市図書館運営委員会選書部会の記録

日 時 平成 17 年 3 月 14 日 (月) 午後 6 時 30 分
場 所 中央図書館 4 階会議室
出席委員 毛利和弘部会長 赤星昌子委員 石田和以委員 池田泰委員
山本輝子委員 米山吉祥寺図書館長 丸本サービス担当係長
事務局出席職員 三木館長 村田課長補佐 森川西部図書館長 柏倉図書担当係長
並木主任 尾上主事 船崎専門委員

議題及び内容

主な協議内容

(1) 議題

武蔵野市図書館の選書について

・新聞の選書方針について

その他

平成 17 年度予算、および新聞所蔵状況・収集方針等を事務局から説明。なお、主な意見等は以下のとおり。

- ・新規導入予定のオンラインデータベースについて特定の新聞社 3 社のものを選んだ理由は？
需要、内容、検索機能といった面から。また 3 社とも記事のプリントアウトが可能である。
- ・オンラインデータベースの導入で、人気の高い新聞を複数部入れてほしいという声に対応できるだろう。利用者用の端末の数を徐々に増やしていくことが望ましい。
- ・古い新聞の縮刷版については、CD-ROM の利用も考えられる。スペースの点から見ても非常に有効。ただ余りにも高価なことが難点。
- ・官報は非常にスペースを取る。紙よりもデータベースでの利用が望ましいのではないかと。
紙で購読するとデータベース導入も安価になる。官報データベースはプリント料が高い。
- ・所蔵の豊富さには感心するが、実際に読まれているのかが問題。利用のないものは無いのか？
貸出のデータ等残らないので確認は困難。ただし、これまでの経験から、全く利用なしというものは無いと判断している。
- ・新聞の縮刷版と索引は現在別の場所に置かれているが、同じ場所に配架するのが望ましい。
- ・武蔵野版は貴重な郷土資料。マイクロリーダーは使い勝手も悪いので、現在マイクロ化されているものもいずれは CD-ROM 化してパソコンで閲覧できるようにすることが望ましい。
- ・外国紙は高いのではないかと？
送料がかかるので高い。ただし、外国紙や国内のローカル紙なども、少数ながら中央図書館新館オープン時以来の利用者の声があり、外すのは難しい。都内で希少な地方紙などはわざわざ他区市から見に来る人もいる。
- ・経費的な問題はあるだろうが、ICチップの導入などによって利用の有無を調べることも、将来的には検討すべきだろう。

次回 平成 17 年 5 月 9 日 (月) 午後 6 時 30 分から